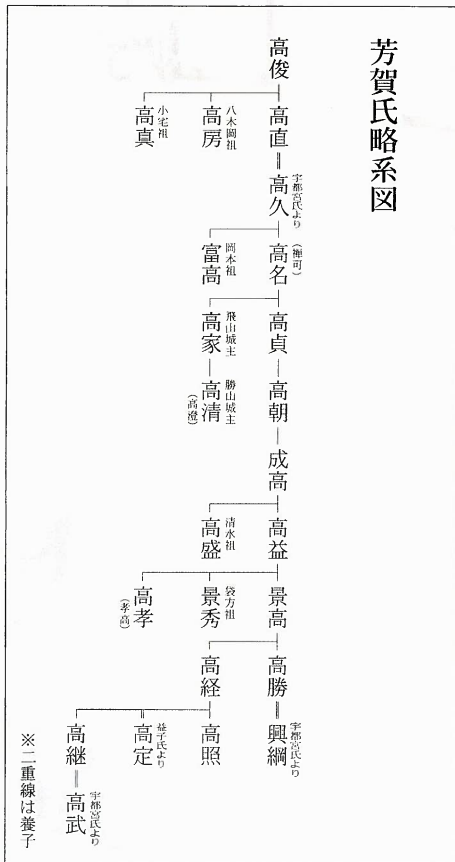


飛山城とは

この城は、鎌倉時代の後半に芳賀高俊によって築かれたと伝えられ、豊臣秀吉の命で破却されるまで、芳賀氏の重要な拠点として機能してきました。

面積は約14ヘクタール(140,000㎡)、城の東と南を二重の堀で、西と北を鬼怒川によって守られています。北側の三本の堀で守られた部分を中心部と考えられています。

昭和52年(1977)、国史跡に指定され、平成4年(1992)度から史跡整備のための発掘調査を行いました。調査では、中世を中心とした数多くの成果が得られ、建物や堀・土塁の一部を復元しました。



交通のご案内



休園・休館日

- 月曜日(祝日・休日を除く)
- 祝日・休日の翌日(土曜日・日曜日を除く)
- 年末年始(12月29日から翌年1月3日まで)

開園・開館時間

- 飛山城史跡公園
 4~10月/午前9時~午後5時
 11~3月/午前9時~午後4時30分
 (入園は閉園時間の30分前まで)
- とびやま歴史体験館
 午前9時~午後5時(入館は午後4時30分まで)
 ※入園・入館料: 無料

公園ガイド

- 4~11月(土・日・祝)/午前10時30分、午後1時30分
- 12~3月(土・日・祝)/午後1時30分

お問合せ

- とびやま歴史体験館
 NPO法人飛山城跡愛護会
 〒321-3236 栃木県宇都宮市竹下町380-1
 TEL 028-667-9400 FAX 028-667-9401
- 宇都宮市教育委員会事務局文化課
 TEL 028-632-2764

国指定史跡 飛山城跡

飛山城史跡公園

とびやま歴史体験館

宇都宮市教育委員会
 NPO法人飛山城跡愛護会

飛山城のあゆみ

- 1293(永仁元) 芳賀高俊が飛山城を築城
 ~1298(永仁6)
- 1333(元弘3) 鎌倉幕府が滅亡
- 1338 (暦応元・延元3) 足利尊氏が征夷大將軍となる
- 1339 (暦応2・延元4) 宇都宮・飛山両城の北朝軍が常陸の南朝軍に敗れる
- 1341 (暦応4・興国2) 春日顕国軍(南朝軍)により飛山城落城
- 1363 (貞治2・正平18) 宇都宮氏綱・芳賀高名父子ら武蔵岩殿山合戦で、足利基氏に大敗(飛山城主芳賀高家が戦死)
- 1467(応仁元) 応仁の乱(~77)
- 1485(文明17) 山城国一揆(~93)
- 1549(天文18) 宇都宮尚綱、五月女坂の合戦で戦死
- 1555(弘治元) 川中島合戦
- 1557(弘治3) 芳賀高定が宇都宮広綱を擁し、壬生氏より宇都宮城奪還(佐竹義昭軍が飛山城に在陣し、これを支援)
- 1560(永禄3) 桶狭間合戦
- 1576(天正4) 織田信長が安土城築城
- 1586(天正14) 豊臣秀吉、太政大臣となる
- 1590(天正18) 秀吉が宇都宮氏とその家臣に対し、不要な城の破却を命ずる(飛山城も破却対象となる)
- 1597(慶長2) 宇都宮国綱改易



飛山城は
 三百年間も使われた
 お城なんだよ

(トビー)

飛山城史跡公園

飛山城は、約300年間つづいたお城ですが、その形は時代とともに変化しています。

現在の城跡は、城域がもっとも拡大した戦国時代のもので、史跡地内の掘立柱建物5棟・竪穴建物2棟は、その時期の建物を復元、整備したものです。

ただし、城内中央西崖寄りの古代竪穴建物は、平安時代の初めの「のろしをあげる施設(「烽家」)」に関する建物を復元整備したものです。

とびやま歴史体験館

見る・学ぶ・体験する



中世掘立柱建物(将兵の詰所)



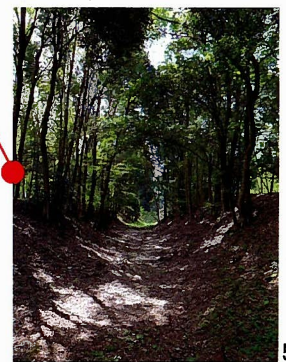
土塁登り体験



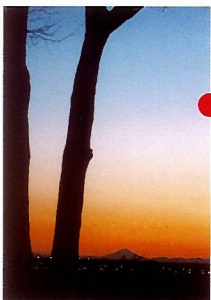
門



木橋



5号堀



富士見ポイントより



「烽家」墨書土器(県指定有形文化財)



古代竪穴建物



中世竪穴建物

飛山の四季

12月 11月 10月 9月 7~8月 6月 5月 4月 2~3月 1月



アジサイ

冬鳥の飛来、富士山の眺望

植物の紅葉

ヤマグリ・ドングリ・コムラサキ実

コバノガマズミ・ウワミズザクラ実

各種野鳥の飛来

セミ・チョウ・トンボの飛来、カブトムシ、クワガタムシ

コバギボウシ、エゴノキ実

ヤマボウシ、エゴノキ、アジサイ、ナルコユリ、ホウチャクソウ、アヤメ、ヤマユリ、ネジバナ

ウワミズザクラ、ヤマザクラ、クサボケ、ヤマブキ、ウラシマソウ、チゴユリ、コバノガマズミ、マムシグサ

コブシ、ヤシオツツジ、スミレ

ウメ、マンサク、サンシユユ、ウグイスカグラ

冬鳥の飛来、富士山の眺望

オムラサキ



ウメ



ギンラン



ヤマユリ



ヤシオツツジ



ヤマブキ



アカゲラ



キビタキ



カブトムシ



オムラサキ